

# 新東名新静岡インターが 地域にもたらすもの

チーム新東名

斎藤美菜子

## 賤機、足久保地区の特徴

新東名ができる前  
不便で寂しい田舎だった

新東名開通後  
東京から片道2時間強⇒首都圏から日帰り圏内  
日帰りプチ観光が可能になった

⇒ 観光による地域の活性化

## なぜ日帰りなのか

首都圏からの車の流れ⇒土曜午前は下りが、日曜午後は上りが混雑

土曜の日帰りドライブと日曜の一泊旅行では求めるものが違う  
今、地元にあるものを活用する

# 地域の自慢できること



しず はた

賤機水

安倍川

静岡独特の雄大さ

鯨が池

インターから3分

釣り堀、自然、癒し

不動の滝

インターから5分

秘境感、美しい自然

水辺の楽校

夏の子どもたちの遊び場

静岡の温暖な気候 と 山間地の寒暖差のある昼夜の気温  
冬の昼の暖かさ と 夏の夜の涼しさ

## 地域の自慢できること



あしくほ

**足久保 お茶**

空に近い茶畑

空の茶畑、美しい景観

伝わる数々の伝説

奈良時代... 聖武天皇と法明寺

鎌倉時代... 静岡茶のルーツ、聖一国師

江戸時代... 幕府に選ばれた献上茶



品質の高いお茶

足久保太鼓

和太鼓なのにキャッチーでポップ！

静岡の温暖な気候 と 山間地の寒暖差のある昼夜の気温  
冬の昼の暖かさ と 夏の夜の涼しさ



# 法明寺(ほうみょうじ)



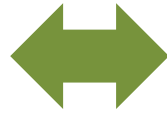
奈良時代、聖武天皇の病気の治癒を願い、行基上人が足久保の楠から七体の観音像を彫り出しました。行基が観音像に祈願したところ、聖武天皇は回復し命を取り留めたということです。その楠の跡に建てられたのが法明寺です。

## 足久保の観光における問題点

### ① 団地住人と農村地区の人たちとの温度差

足久保はベッドタウン

子供たちは外へ出てゆくもの  
求めるのは落ち着いた暮らし



お茶産業の衰退を食い止めたい

お茶農家廃業の対策が必要  
足久保地区の観光化、  
足久保茶のブランド化が必要

### ② 農村地区が一丸となれない現状

積極性のある人

「今やらなければ将来は無い！」



消極的な人

「手本がない」

「今で精いっぱい」

### ③ 観光用の飲食店、売店がない

観光客が飲食する場所

足久保の地元茶を買える場所がない（現在は祭り等に不定期で販売）

### ④ 道路が狭い

# 足久保地域の取組

## 足久保茶ブランド推進委員会

- ・ 定期的に久能山などで呈茶活動。
- ・ 「あしくぼ家康公のお茶祭り」の開催。

## 足久保学区自治会連合会

- ・ オリーブプロジェクト  
...今年12月にスタートの植樹祭が行われた

# 私の提案

- ・ 団地公民館のお茶カフェに足久保茶の無料提供
  - 足久保茶の美味しさを住民にPR
- ・ 足久保茶のブランド化に向けて商標権の出願
  - 商標取得のための勉強会など
- ・ 足久保の伝説をわかりやすい物語にし広報に活用
  - 聖一国師の物語を子供向けに書き直し

ご清聴ありがとうございました